このコーナーでは、当社オリジナルキャラクター「プラネッ太くん」が訪日外国人に人気の観光スポットに赴き、その魅力とインバウンド消費に関わるトピックスを紹介します。

プラネッ太くんの新☆ジャパン見聞記

新横綱の出身県で、県内の圏央道が全線開通、4月からは朝の連ドラの舞台、と最近話題の茨城県。海外からのツアー数が前期比1.6倍※、「トリップアドバイザー」が2016年に発表した“外国人からの関心が高まった都道府県トップ10”で2位に輝くなど、インバウンドの分野でも注目を集めています。今回は茨城の人気スポットを巡り、「IBARAKI」の魅力と、満足度を高めるための取り組みについてお話を伺ってきました。

※平成28年4月～平成29年1月までのツアー数実績。

茨城 IBARAKI

東京へのアクセスが便利という好立地なコトもあり、外国人宿泊数が飛び伸びている茨城県。特徴的なのは、中国、台湾に次いで多いのが**ベトナムからのツアー**だというコト。茨城県は国内で位の農業県。そして、ベトナムも農業がさかんな国という縁もあり、ベトナムの研修生を茨城の農家さんで受け入れるようになり、さまざまな分野で交流が深まっているのです。

お越しいただいた方の満足度を高められるよう、ホテルや観光施設内での多言語表記の支援、無料Wi-fi環境の整備、外国人観光客のおもてなし向上などの受入体制を進めています。

茨城県商工労働観光部 観光局
国際観光課（国際誘客担当）課長補佐
幡谷 佐智子 さん

偕楽園

水戸駅から車で約6分のトコロにある**梅の名所**。毎年2月中旬～3月下旬には「梅まつり」が開催。満開の梅の中、華やかな振袖を着た「水戸の梅大使」が出迎えてくれる。県内では、ひたち海浜公園の次に、外国人観光客に人気の場所。

水戸の梅大使

梅酒と酒の資料館 別春館

外国人観光客に一番人気の茨城土産は…なんと、梅酒!!

酒蔵見学後、皆、持てる分だけまとめて買って帰るんだとか!!

はたまた、こんなエピソードも…。ベトナムの団体ツアーが帰る時に社員さんのひとりがスマホで調べ、ベトナム語で「また、来てください」と叫んだら、皆、感動して握手しに戻って来たのだそう

甘いもの好きの中国やタイの方は梅酒をベトナムの方は日本酒も好まれます

寺内 章江さん

英語が苦手でもおもてなしの心があれば通じますよッ!

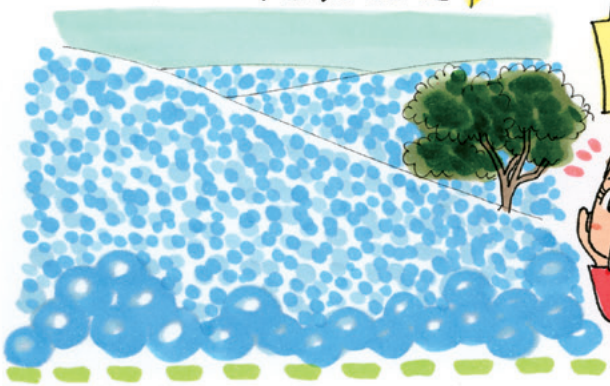
明利酒類株式会社
常務取締役
小川 眞幸 さん

＊ベトナム語で「またね」の意味

国営 ひたち海浜公園

ひたちなか市の海岸近くに広がる公園。戦前は日本軍の飛行場、戦後は米軍の射撃場だったそう。4月下旬～5月中旬に咲く青い花・**ネモフィラ**。一面が青い世界になる様子が、訪れた外国人観光客の**SNSの投稿から拡散**され、またたく間に**大人気スポット**になったのです!!

これがウワサの… **ネモフィラ畑**

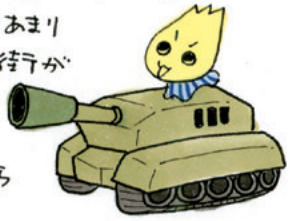


ネモフィラ畑は、夏にはコキアになり

秋にはそのコキアが真紅に!!

大洗

水戸から電車で約40分。あんこうなど魚介類が豊富な海辺の町。2012年頃からは、戦車が登場する**某アニメの「聖地」**として、ファンがどっと押し寄せ、人があまり歩いていなかった商店街がにぎわうように。**海外のファン**も台湾・香港などから来るのだそう!!



牛久大仏 &

あみプレミアム・アウトレット

立位の巨大仏は珍しいようで、仏教徒の多い東南アジア諸国をはじめ、**様々な国の観光客**が訪れています。また、徒歩25分ほどのトコロにアウトレットモールがあるため、牛久大仏を見学後に訪れる人も…。中華圏からの団体客は、ツアーバスでアウトレットモールに行くコトが多いようす。

国籍問わず大仏さん大人気

茨城空港

水曜をのぞく毎日、上海との国際便が発着。また、茨城空港から**東京駅行きの連絡バス**が出ており、航空機利用者は片道ワンコイン（**500円**）で利用できるというお得さ。入国後、コレに乗って東京へ向かう人も多い。茨城県内で宿泊すると割安になるのでレンタカーを利用する方も。